

現場第一主義!

～都議会公明党の活動記録から～

●都内●

2月3日 東日本大震災で、都内約350万人の帰宅困難者が発生した教訓を踏まえ、東京・新宿・池袋駅などで同時に訓練が行われ、約1万人が参加しました。帰宅抑制、一時待機、誘導、帰宅支援などの訓練を通し、新たな課題も見えてきました。都議会公明党は、今後もこうした訓練の継続とともに、情報の一元化や迅速な伝達、さらには突発的な事態を想定したブラインド訓練(内容を隠した訓練)なども行うよう、提言しています。(写真上は東京駅地下通路にて)



1月31日
東京湾や河川などの放射線量調査を環境局長へ要請する。



発行/都議会公明党 〒163-8001 新宿区西新宿 2-8-1 ご意見、ご要望は都議会公明党までお願いします。
TEL.03-5320-7250 FAX.03-5388-1787
http://www.togikai-komei.gr.jp/

都議会議員 **伊藤こういち** 通信

東京都議会 第1回定例会特集



災害に強い首都・東京の構築へ!
知事に申し入れ、都議会で具体的提案!



平成24年度予算について、都民意思を反映した都議会公明党の復活予算要望を石原知事に申し入れる。(1月15日)

都議会公明党の主張が随所に反映された主な平成24年度事業

『防災』

- ◇災害拠点病院の通信体制を強化するため、衛星電話を58病院に整備します。(都立病院と公社病院は整備済み。)
- ◇災害時に近隣住民同士が助け合う体制を強化するため、先進的な共助の取り組みを「防災隣組」として認定し、活動内容やノウハウを都民に広く紹介します。
- ◇帰宅困難者一時滞在施設の充実に取り組むとともに、災害拠点病院や緊急車両用として3日分の燃料を確保します。
- ◇火災などの危険性が高い木造住宅密集地域について、「不燃化10年プロジェクト」を開始します。

『福祉・医療』

- ◇待機児童の解消をめざし、保育所整備を進めるほか、複数の家庭的保育者(保育ママ)が同一建物内などにおいて、共同で保育を行うモデル事業を本格実施します。
- ◇地域における医療と介護の連携強化をめざし、訪問看護ステーションの人材確保支援などに取り組みます。

『雇用・産業』

- ◇派遣就労を通して若者と中小企業とのマッチングを行い、派遣期間終了後に正規雇用を図る事業の規模を大幅に拡充します。
- ◇厳しい経営環境にある中小企業の経営改善を支援するため、中小企業診断士などの専門家派遣事業を拡充します。

●岩手県(釜石・宮古)●

2月12～13日 岩手県釜石市と宮古市へ、現状調査と被災地支援のため、現場へ向かいました。

中学生が小学生の手を引いて避難し、被害を最小限に食い止めた“釜石の奇跡”の現場で関係者から話を聴きました。日頃の訓練による消防団の的確な判断と、防災教育の重要性について確認しました。

また、宮古市では市長や関係者から復興状況を聴き、産業復興支援などについて意見交換を行いました。



宮古市長から現状を聴き、意見交換を行う。



醤油、菓子、海産物などの特産品の販路拡大支援について関係者と意見交換を行う。